

経営発達支援事業による景況調査(独自調査)の結果報告

実施期間: 令和3年12月27日～令和4年1月12日

会員数	83
提出数	42
回収率	50.60%

建設	製造	小売	サービス	その他
11	1	10	13	7

令和2年7月～9月と比べた令和3年7月～9月の経営環境等の状況

	減少	横ばい	増加	増加	横ばい	減少
売上高				6	16	19
販売数量				5	14	17
売上単価				5	23	11
原材料・商品仕入単価				12	26	26
採算(経常利益)				4	15	20
資金繰り				3	24	12

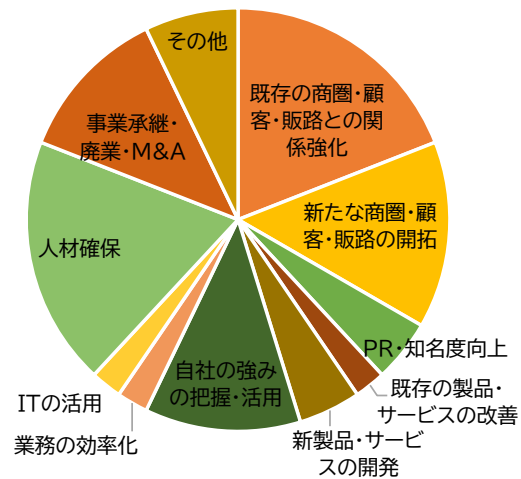
令和3年7月～9月と比べた今後(3ヶ月)の経営環境等の状況

	減少	横ばい	増加	増加	横ばい	減少
売上高				4	21	16
販売数量				4	18	14
売上単価				4	16	9
原材料・商品仕入単価				13	25	25
採算(経常利益)				4	19	16
資金繰り				2	26	11

現在の経営課題

1.既存の商圏・顧客・販路との関係強化	8
2.商圏・顧客ニーズの把握	0
3.新たな商圏・顧客・販路の開拓	6
4.製品・サービスのPR活動や自社の知名度向上	2
5.既存の製品・サービスの改善	1
6.新製品・サービスの開発	2
7.自社の強みの把握・活用	5
8.業務の効率化	1
9.ITの利活用	1
10.人材確保	8
11.事業継承・廃業・M&A	5
12.その他()	3

↓
 地域活性化(行政の基本取組)
 設備投資(車両更新)
 コロナ禍での人の来訪をして欲しくない



商工会への要望

- ・情報提供や指導
- ・地域全体の活力低下による衰退の改善
- ・酒類販売業は困っているので指導して欲しい
- ・移動車の購入助成をして欲しい(新規開業以外にも拡充希望)
- ・プレミアム商品券をスマフォAPと連動してプレゼントに変更(村民の健康維持)
- ・SNSマーケティングの研修をして欲しい

総括

- ・昨年との対比では、事業内容が悪化した事業者が多く、内容的にも厳しい状況と言える。
- ・事業者の1割近くは、コロナの影響も少なく好調を維持している。
- ・今後3ヶ月は横ばいと感じている事業者が多い。但し、オミクロン感染拡大前の実施のため、今現在(令和4年1月12日以降)の状況とは大幅に変わっている可能性が高い。
- ・経営課題等については個別で今後対応を行って参りますが、過疎や高齢化での人手不足も深刻になって来ている。
- ・事業者の努力だけではなく、村(行政)への地域活性化を望む声も増加している。
- ・各種補助金、支援金等が随時実施されている状況が継続しているので、会員の方々にはそれも含めて迅速な情報提供と情報共有に努める。また、手続きがオンラインでの実施が増加傾向にあるが、完了までサポートし適正な申請、完了までの支援を行います。

※集計しました数については、複数回答項目も無回答項目もありましたので数が回収数より増減しております。(内容を把握のために無調整となっております。)
色付きの項目は、一番多い回答又は、上位3つの回答となっております。